

門の若菜たち

八王子市立横山中学校 学校便り 令和8年度 5月号 令和8年5月15日



横山中学校 HP

教育目標について

校長 長田 克

本校では中学校、3年間の学びの中で、皆さんに身に付けてほしい力を教育目標として4つ掲げています。

1つ目は「**進んで学習し、よく考える人になろう**」です。皆さんが生きていく社会は、今後さらにAI やIOT といった技術革新が進むとともに、働き方やライフスタイル、産業構造までもが大きく変わってきています。そうした激変の中で生きていくためには、学校での学びは「なぜ」「どうして」「どうやったら」という疑問をもって、疑問を解決するために、じっくり考えながら、進んで学習することが重要です。そのためには自分に必要な知識・技能を自分で身に付けていかなければなりません。そこで必要とされるのが、自分で考える力、判断する力、表現する力です。1時間1時間の授業を大切に学習に取り組んでください。

2つ目は「**礼儀正しく、思いやりのある人になろう**」です。礼儀とは、相手を大切にできる気持ちを行動で表すことだと思います。そして、思いやりとは、相手の立場に立って考え、行動することです。

私たちの生活の中には、「あいさつをする」「ありがとうと言う」「約束を守る」といった基本的な礼儀があります。これらは当たり前のことのように思えますが、きちんとできる人は周りから信頼され、良い人間関係を築くことができます。

また、思いやりの心を持つことも大切です。例えば、困っている人に声をかける、相手の気持ちを考えて言葉を選ぶといった行動は、相手を安心させ、周りの雰囲気をも温かくします。自分のことだけでなく、相手の気持ちを考えることで、より良い社会につながります。

3つ目は「**心身をきたえ、ねばりづよい人になろう**」です。中学生は、心と体がめざましく成長し、活力にあふれ、どんなことにも積極的に取り組める時期です。しかし、自分のわがままや衝動のままに行動してしまう危うさもある時期であるため、規則正しい生活習慣を築き、自分をコントロールする強さをもって中学校生活を送らせることが重要になります。自分を見つめ、物事を広い視野からとらえ、人間としての生き方について考えを深める教育活動を展開することで心身ともに健康な人になってください。

4つ目は「**広い視野を持ち、社会に役立つ人になろう**」です。広い視野を持つとは、一つの

考え方にとらわれず、さまざまな立場や意見を理解しようとすることです。

私たちは普段、自分の考えを中心に物事を見がちですが、周りには違う考えを持つ人がたくさんいます。例えば、友達と意見が合わないときでも、相手の話をよく聞くことで、「そういう考え方もあるのか」と気づくことができます。このような経験を重ねることで、物事を多角的に見る力が身についていきます。

また、社会に役立つ人とは、自分のためだけでなく、周りの人のことを考えて行動できる人だと思います。特別なことをするだけでなく、あいさつをする、困っている人に声をかける、ルールを守るといった日常の小さな行動も、社会を支える大切な一歩です。

これからの社会では、さまざまな人と協力しながら問題を解決していくことが求められます。そのためにも、多くのことに関心を持ち、いろいろな人の意見に耳を傾けながら、自分にできることを考えて行動してほしいと思います。

中学生は、心と体がめざましく成長し、活力にあふれ、どんなことにも積極的に取り組める時期です。しかし、自分のわがままや衝動のままに行動してしまう危うさもある時期であるため、規則正しい生活習慣を築き、自分をコントロールする強さをもって中学校生活を送らせることが大切になります。これら4つの目標を意識して、自らを高め充実した中学校生活を送ることを期待しています。

スケアード・ストレート

5月1日（金）の5校時に、交通安全教室を実施しました。あいにくの雨で体育館での実施となってしまいました。近年、自転車に関与する交通事故の割合が増加し、信号無視や車道の右側走行など、自転車利用マナーについても社会問題化しています。令和6年度には東京都内で発生した交通事故のうち、45.8パーセントが自転車に関与したとされています。また、法改正を受けて、令和8年4月には自転車の危険運転や違反運転に対する取り締まりが強化されています。

今回の交通安全教室は、スケアード・ストレート方式によるものです。スタントマンの方が交通事故を生徒の目の前で再現し、交通事故の衝撃や怖さを実感させ交通事故の原因や状況を伝えることで、交通ルールの順守や交通マナーを守ることの重要性を学習して交通安全意識の向上等を図り、交通事故を抑止することを目的としています。まず、高尾警察交通課の方からのお話を伺いました。その後、スタントマンの方の実演は大変迫力があり、交通事故の衝撃の大きさや恐ろしさを十分に理解できるものでした。



最後に、生徒からお礼の言葉をお伝えし、交通安全教室は終了となりました。交通ルールや交通マナーを守ることの大切さを、改めて考える良い機会となりました。大事なことは、今回学んで高まった交通安全の意識を生かしていくことです。交通ルールや交通マナーを守って、事故のない中学生生活を送ってほしいと思います。